

皆様の声を直接 県議会に!!

新生わかやま
県議団

意見広告

条例改正を求める
署名活動を進めます!

和歌山県議会 新生わかやま県議団
玉置 公良
阪部 菊雄 野見山 海
原 日出夫 浦口 高典
☎073(432)4111【県庁代表】
URL <http://www.shinseiwakayama.com>
E-mail wakayama@shinseiwakayama.com

私たちは、県民の皆さんの視点に立ち、議員は
自らが率先して身を削るべきだと考え、
定数削減(43名条例)を主張!!

³/₁₇ 議員定数「46名維持」で可決!

なぜ、和歌山県議会が……?

新生わかやま県議団は
43名に削減するよう
主張しました。

厳しい県財政状況の中、行政も民間と同じように
痛みを分かち合うべく、議員は率先して身を削る
べきと考えます!

各都道府県議会も定数削減
削減0は行政改革にも逆行

私たちは、県政の信頼を勝ち取るため、県民の皆さんと共に

「定数削減」を求めめる

署名運動を進めます

ご協力をよろしくお願い申し上げます

和歌山県議会 新生わかやま県議団

阪部 菊雄(橋本市)
玉置 公良(西牟婁)
野見山 海(田辺市)

原 日出夫(田辺市)
浦口 高典(和歌山市)

なぜ、和歌山県議会だけが……?

意見広告

議員定数「46名維持」で可決

☎073(425)1137【直通】

URL <http://www.shinseiwakayama.com>
E-mail wakayama@shinseiwakayama.com

県民の声を無視!

四大紙(朝日・読売・毎日・産経)並びにニュース和歌山・和歌山新報等に「新生わかやま県議団」が掲載した意見広告です。

定数削減

1票の格差抱え 条例改正

県議会は17日、議員定数を現行通り、法定上限の46とする条例改正案を31対12の賛成多数で可決した。自民、共産、県民クラブの3会派が賛成した。反対した新生わかやま、公明、無所属などの各会派は、成立した同条例の改正を求めて、住民の直接請求に必要な署名を集める方針だ。

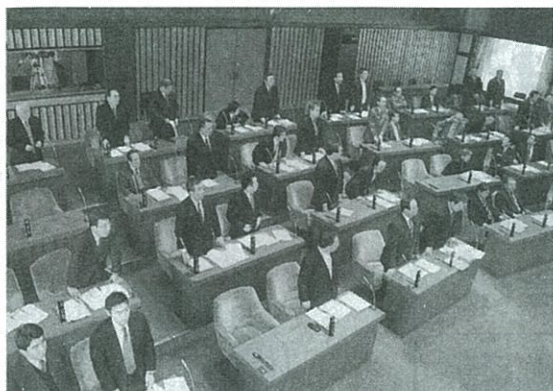
反対会派は住民請求へ

定数条例改正案に賛成する自民、共産、県民クラブの議員(17日、県議会)

賛成したのは自民24、共産4、県民クラブ3。反対したのは新生わかやま5、公明4、県政21

議員定数「削減ゼロ」可決

自民、共産、県民クの賛成多数で



1、無所属1、橋本市選出の自民県議1。同条例案を提出した自民、共産、県民クラブの3会派の代表者8人は、提案に当たって趣旨説明、採決の前の賛成討論を省略した。新生わかやまの玉置良代表と公明の和田弘代表はそれぞれ反対討論した。玉置代表と和田代表は討論で「削減を検討中の3県を除き、全国で「削減ゼロ」は和歌山県議会のみになる」と皮肉り、「削減は自ら改革に立ち上がるべき」と結んだ。新生わかやまは定数43の条例改正案を提案したが、賛成少数で否決された。公明は反対討論の中

H18.3.19 (日) 紀伊民報

☆「新生わかやま県議団」が〈条例改正〉の県民署名運動を進める4つの理由

- 1. 47都道府県議会でも、定数削減されていないのは和歌山県を含め2県のみ。(但し、もう一つの徳島県では6月議会で検討の方向)
2. 県は、5年以内に知事部局の5,270人を、1,400人(約27%)削減。市町村合併により、首長は50人から30人に、議員は745人から480人になった。
3. 定数配分の最大格差2.3倍。伊都郡2万9,817人、橋本市6万8,525人で共に定数2。また、橋本市より人口が少ない有田郡5万1,452人が定数3は、どう考えても納得できない。
4. 昨年12月議会で、自民党を中心にした議員提案により、県民の皆さんから年間2億6千万円の「紀の国森づくり税」を5年間に渡り徴収することを議会の多数決で決めた。

H18.3.10(金) 毎日新聞

検討委は報告書で、議員定数を1人も減らさないとした。地方自治法の上限り議員がいる都道府県は、和歌山を含む4県だけ。県内各地の声を県政に届けるには必要という意見もある。しかし、三位一体改革などを受けて県の財政状況は厳しく、県

県議だけが「聖域」か

た市町の多くも議員定数を減らしている。県議だけが「聖域」では、県民は納得できない。議員自身も定数削減を求めている。久保隆

H18.3.11(土) 朝日新聞

議員定数は現行の46人

県議会検討委、報告書を提出

07年4月に実施される県議選の定数や選挙区割りを検討してきた「県議会議員選挙区等検討委員会」(委員長＝町田直樹)は9日、吉井和樹議長に対し、定数を現行と同じ46とする報告書と併せて、同報告書の内容をもとに条例案を作り、2月定例会に議員提案する方針。

同委員会は04年6月、議長の諮問機関として設置。県議44人(定数46、欠員2)のうち主な会派の代表者13人で構成されている。提出された報告書では、まず定数について「06年国勢調査の結果

県人口約103万6千人をもとにした地方自治法による県議会の法定(上限)定数は46になった。など記載。その上で都市部と郡部における地域間の均衡などを考慮した結果「賛成多数で(現行と同じ)46にした」と説明している。ただ、委員の一部から「全国で法定上限数を案外定数としている県はわずか4県である」との指摘もあつた。議員定数は減らすべきだなどの意見が出されたことも明記している。報告書提出後、会見した町田委員長は「合併で市町村議会議員が削減されたこともあり、県議会

議員定数 当初案と報告案の比較

Table with columns: 報告案, 各会派の当初案, 選挙区, 定数, 現職会派, 自民, 共産, 県民, 新生, 公明. Rows include 和歌山市, 海南・海草, 紀の川市, 岩出市, 橋本市, 伊都郡, 有田市, 有田郡, 御坊市, 日高郡, 田辺市, 西牟婁郡, 新宮市, 東牟婁郡, 県計.

県議会議員選挙区等検討委員会(町田委員長、蔵議選だけは反対した。採決で、新生わかやま、共産、県民クラブ、新生わかやまの4会派と町田委員長がそれぞれ別々の案(定数46)を提出し、3月8日に開かれた最終の第12回会議で、採決直前に自民、共産、県民クラブが同じ内容の修正案(定数46)を提出し、3会派委員の賛成多数で採決した。自民委員の中で「一票の格差」が大き

H18.3.15(水) 紀伊民報

論

県議会の選挙区等検討委員会が打ち出した報告書を見て、あ然とした。議員数を一切減らさず、定数配分にも不合理極まりない格差を持ち込んでいるからだ。しかし、議会の多数派が賛成しているから、17日の本会議では原案通り成立する情勢だ。おかしな話ではないか。こんなやり方で、信頼は得られるのだろうか。報告書にある新しい議員定数は別表の通り。定数は法定の上限定数46を維持し、2007年4月の選挙区から、市町村合併した二部の選挙区の定数を増減させる内容を盛り込んでいる。しかし、「私は行政も民間と同じように痛みを分かち合う時代。各都道府県議会も、議員定数を削減している。いまも削減していないのは、岩手、山口

「談合」で信頼は得られない

の議員の削減率は10.6%(09年度目標、いずれも県調へ)。どこもかしこも身を切る努力をして経費を削減しているのだ。県議会だけは例外ということにはならないだろう。報告書では、人口約3万人の伊都郡と約6万9,000人の橋本市の定数がかたよりにとされた。人口が倍以上なのに定数は同じという

県議会の議員定数

ながらまとまったのは、理由がある。選挙区で利害のからむ議員の3会派が、互いの都合に合わせ妥協したからだ。もともと自民、公明、新生わかやまが削減派、共産と県民クラブが現状維持派だった。だが、最後に自民、共産、県民クラブが妥協を提出、賛成多数で採決した。妥協の内容は、「た、伊都郡で